

聖学院大学大学院 心理福祉学研究科

# 公認心理師 コース

## 公認心理師の仕事

### 観察・分析

心理に関する  
支援を要する者の  
心理状態の観察、  
その結果の分析

### 助言・指導

心理に関する  
支援を要する者に対する、  
その心理に関する  
相談及び助言、指導  
その他の援助

### 関係者の援助

心理に関する  
支援を要する者の  
関係者に対する  
相談及び助言、指導  
その他の援助

### 教育・情報の 提供

心の健康に関する  
知識の普及を図るための  
教育及び情報の提供



Love God and Serve His People

聖学院大学大学院

## ■ 公認心理師資格取得までの流れ

公認心理師の国家試験受験には、4年制大学と大学院修士課程にて、必要な科目を修得することが条件となります。聖学院大学大学院で科目を履修する場合、資格取得までの流れは以下の通りです。公認心理師法の施行前に4年制大学において受験資格の取得に必要な科目の単位を修得していた場合、学部段階での受験資格条件は満たしたものとみなされます。現在大学4年生であっても、心理学分野の科目を履修している学生であれば今から公認心理師資格を目指すことができる可能性があります。詳しくは出身大学もしくは所属大学にお尋ねください。



## ■ 大学院における必要な科目

公認心理師試験の受験に必要な科目は省令により定められています。

| 省令により定められている科目                | 本大学院心理福祉学研究科における担当教員            |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 保健医療分野に関する理論と支援の展開            | 森岡 由起子                          |
| 福祉分野に関する理論と支援の展開              | 堀 恭子                            |
| 教育分野に関する理論と支援の展開              | 堀 恭子                            |
| 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開           | 藤掛 明                            |
| 産業・労働分野に関する理論と支援の展開           | 長谷川 恵美子                         |
| 心理的アセスメントに関する理論と実践            | 藤掛 明                            |
| 心理支援に関する理論と実践                 | 大橋 良枝                           |
| 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 | 大橋 良枝、村上 純子                     |
| 心の健康教育に関する理論と実践               | 長谷川 恵美子                         |
| 心理実践実習（450時間以上）               | 大橋 良枝、長谷川 恵美子、堀 恭子、村上 純子、森岡 由起子 |

## ■ 担当教員一覧

### 大橋 良枝 教授 Yoshie OHASHI

- 専攻分野 臨床心理学、精神分析学、集団力動論
- 研究テーマ 重度神経症、投影性同一化、精神分析学理論の支援者支援への援用

### 長谷川 恵美子 教授 Emiko HASEGAWA

- 専攻分野 臨床心理学、医療連携、健康心理学、リラクセーション
- 研究テーマ 心血管疾患患者のQOLとうつ病予防、健康教育とメンタルヘルス、高齢者のうつ病予防

### 藤掛 明 教授 Akira FUJIKAKE

- 専攻分野 臨床心理学、描画テスト、アートセラピー、キリスト教カウンセリング
- 研究テーマ コラージュ療法の非行少年への適用、雨の中の私画テストの基礎的研究、臨床心理学からの牧会の分析

### 堀 恭子 教授 Kyoko HORI

- 専攻分野 臨床心理学、地域援助心理学
- 研究テーマ 対人援助の心理的理解と援助職への心理的支援、スクールカウンセラーの活用についての検討、心理面接評価方法についての検討

### 村上 純子 教授 Junko MURAKAMI

- 専攻分野 家族心理学、家族療法
- 研究テーマ こどもと家族の問題、スクールカウンセリングと児童心理学、発達臨床心理学

### 森岡 由起子 教授 Yukiko MORIOKA

- 専攻分野 乳幼児精神保健、児童青年精神医学、臨床心理学、心身医学
- 研究テーマ 母子の関係性障害の支援、極低出生体重児の発達のアセスメントと支援、学校コンサルテーション、医療心理職へのスーパーヴィジョンのあり方

## 心理専門職を養成する【公認心理師コース】の特長

POINT  
1

5分野を  
網羅した  
学外実習施設

公認心理師の受験資格を得るための450時間の実習をさいたま・上尾地域を中心に多くの学外実習機関に委託し、多方面にわたる実習を行う環境を整えています。

POINT  
2

心理相談室を  
学内に設置

地域に開かれた心理相談専門機関である「心理相談室」を学内に設置しています。ここで、心理実践の実際を学び、丁寧な実習指導を受けることができます。

POINT  
3

公認心理師  
国家試験の  
対策

公認心理師の国家試験受験に向けて、正課の授業とは別に、少人数教育ならではのきめ細かい個別指導を行っています。

### 学外の実習先

埼玉県内の  
・総合病院  
・精神科診療所  
・教育センター  
・療育センター  
・少年鑑別所  
・高齢者施設  
・作業所  
など



## 公認心理師コース〔履修例〕

|   | 月                      | 火               | 水                        | 木                       | 金                  | 土 |
|---|------------------------|-----------------|--------------------------|-------------------------|--------------------|---|
| 1 |                        | 心理支援に関する理論と実践   |                          |                         | 教育分野に関する理論と支援の展開   |   |
| 2 | 対人援助特論X<br>2単位         |                 |                          | 心理学特論XI<br>2単位          |                    |   |
| 3 |                        | 心の健康教育に関する理論と実践 | 心理実践実習A<br>〔複数学期〕<br>4単位 |                         |                    |   |
| 4 | 対人援助特論XII<br>2単位       |                 |                          |                         |                    |   |
| 5 | 精神分析学研究演習I<br>2単位      |                 |                          |                         | 心理的アセスメントに関する理論と実践 |   |
| 6 | 調査研究法I<br>〔複数回〕<br>4単位 |                 |                          | 調査研究法II<br>〔複数回〕<br>4単位 | 心理学特論VI<br>2単位     |   |
| 7 | 量的研究                   |                 |                          | 質的研究                    |                    |   |

公認心理師コース1年次秋学期の履修の例です。心理福祉学研究科では、2年間で30単位以上の単位を修得します。加えて実習・演習科目を履修します。

## 大学院生の声



上野 万悠 さん

心理福祉学研究科  
＜公認心理師コース＞  
2020年入学

### 現場での実践経験を、研究に活かす。

児童福祉の領域で心理職として働きたいと考えていたので、児童・福祉・心理のいずれの分野においても理解を深める事のできるこの大学院を受験しました。公認心理師の受験資格に必要な科目だけではなく、自分の学びたい事を多面的に追究する事のできる授業の選択肢の豊富さに満足しています。教授が学生の関心を理解してくださり、授業もその関心にしたがった相互作用的なやり取りに基づく内容を展開して下さいます。また、共に学ぶ履修生とのディスカッションでは多様な立場から見る考え方に刺激を受け、修士論文については先生方の丁寧なサポートの下、研究を進める事が出来ます。そのため、その時の自分に必要な一期一会の授業に出会う事が出来ました。

